



福島県立梁川高等学校

平成30年2月26日

校長通信

Team Yanagawa

vol. 19

■ 春浅き空へさし入る木々の末 (星野 恒彦)

自宅学習中の3年生が登校した2月19日は、二十四節気の一つ雨水でした。降る雪が雨へと変わり、氷が溶け出す頃とされています。一時期の厳しい寒さも和らぎましたが、まだまだ冬の余寒が残り、木々の芽吹きには間があるようです。私がカイロを腰やお腹や背中に貼らずに済むのは、いつ頃になるのでしょうか。この朝も出勤直後に校長室のブラインドを上げると、中庭に立つケヤキの大木が目飛び込んできました。三本とも太い幹から四方に枝を伸ばし、青空に向かって屹立しています。この日は3年生が元気な姿を見せてくれましたが、彼らの表情は3年間過ごしたこの学舎を愛おしむようでした。3月1日は卒業式です。いよいよ3年生を送り出す日が近づいています。



■ 蠣崎波響の旧宅跡にたたずんで

蠣崎波響(かきざき はきょう)は、江戸時代後期に梁川地方を治めた松前藩の家老を務めた人物です。アイヌの族長十二人を描いた「夷酋列像」の画家としても知られ、作家の中村真一郎は著書の中でその波乱に満ちた生涯を描いています。波響四十四歳の時、藩主の芳しからぬ素行による藩政の混乱と、外国船が北海道海域に出没する国際情勢を理由に、幕府は松前藩に奥州梁川への転封を命じました。米作が不可能な蝦夷地にあった松前藩は、転封をきっかけに慣れない農業経営を余儀なくされます。筆頭家老であった波響は、藩政再建と松前復領運動に取り組むかたわら、絵画の制作と詩作を行いました。特に波響に課せられた重大な任務は、松前への復帰を果たすこと。制作した絵画の売却利益は幕府要人への工作資金に当てられました。波響五十八歳の時、悲願の松前復帰が幕府に許され、翌年ようやく松前に戻ることができたのです。その間に十五年の月日が流れていました。松前藩が梁川を治めた時期、波響は広瀬川沿いの自宅を「梅瘦柳眠村舎」と称し、激務を果たしながら梁川の文人たちと絵画や詩を通じて交遊を深め、「梁川八景」などの作品を残しています。先日、広瀬川沿いを散策した折、波響の旧宅跡を写真に収めてきました。自宅となった「梅瘦柳眠村舎」の名称は、「痩せてか細い身でありながら、冬の厳寒に耐え、他に先駆けて花を咲かせる梅」と「人間の形をしたしなやかで強い柳」に由来しています。このことから、自らを梅と柳に擬え、身に降りかかった苦難を乗り越えようとした波響の気持ちに心が迫ってきます。人は生きていればたくさんの困難や逆境に遭遇することがありますが、その人の真価が問われるのは、「どのように困難や逆境を克服しようとしたか」ではないでしょうか。「すべての逆境には、それと同等かそれ以上に大きな恩恵の種子が含まれている」という箴言があるように、逆境を克服することを通じて人は強くなり、人格を磨くことができます。逆境は人に恩恵をもたらし、成長を促す跳躍台でもあると言えるでしょう。私もこの先、数多くの苦難や逆境を経験するに違いありませんが、それらが自分を成長させるチャンスと受け止め、できる限りの対処をしたいと考えています。生徒諸君には苦しいこと、辛いことがあっても、「逆境は人を強くする」という言葉を想い出し、日々の生活を送って欲しいと思います。波響の旧宅跡に佇む私の脳裏には、夏休みを利用して訪れた松前の町並みと波穏やかな津軽海峡が浮かんでいました。



PTA 役員会

2月21日、第4回PTA役員会が行われました。平成29年度会務・会計・各委員会活動の中間報告、平成30年度事業計画案、調査広報誌の発行に係る変更、各種会計と会則の見直しについて協議が行われました。平日のお忙しい中、出席いただいた役員の皆様には、あらためて感謝申し上げます。今後も本校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜りたく存じます。

インターンシップ報告会が行われました



2月13日、1年生の総合学習の時間に「インターンシップ報告会」が行われました。先日行われた2年生のインターンシップは生徒達にとって大変有意義なものでしたが、その貴重な体験を直接聞くことで進路意識の高揚を図る目的で例年行っているものです。5名の2年生が報告を担当し、実習先で体験したこと、学んだことを一所懸命発表してくれました。1年生諸君には自分の働く姿をイメージするとともに、来年度への意欲を高め、日常生活の過ごし方について考えを深めて欲しいと思います。

学年末考査が終了しました

2月15日から20日までの土日を挟んだ4日間、学年末考査が行われ、無事終了しました。1・2年生は日頃の学習の成果を発揮すべく、真剣に問題に取り組んでいました。考査前学習会に積極的に参加する生徒の姿も見られました。

シェイクアウトふくしまへの取組

2月21日、県下一斉安全確保行動訓練「シェイクアウト福島」に取り組みました。地震発生時に真っ先に安全行動が取れるよう、放送による合図により、机に下に体を入れて身を守る行動を訓練しました。



学校保健委員会が行われました

2月7日、第2回学校保健委員会が行われました。今年度の健康診断実施状況と歯科講演会アンケート結果についての報告後、厚生保健委員の生徒諸君から「朝食について見直そう習慣運動」の結果について発表がありました。また、保健主事から学校安全計画・学校保健計画の実施評価と次年度への課題についての説明がありました。生徒の歯科受診率を高める方法、朝食を摂らない生徒への働きかけの在り方、次年度の歯科講演会の持ち方等について、活発な意見交換が行われ、建設的な提案がなされました。



発表する厚生保健委員の生徒達

学校評議員会が行われました

2月19日、学校評議員会が行われ学校から平成29年度末評価について説明させていただいた後、委員の皆様からご意見やご助言を頂戴しました。本校の教育活動について、学習指導、生徒指導、進路指導等の観点からいただいた貴重なご指摘は、今後の学校運営に活かし地域に開かれた学校づくりをさらに進めて参ります。委員の皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。なお年度末評価の結果については、後日、本校Webページに掲載する予定です。

華道部の生け花展が行われました

2月24・25日の両日、梁川美術館において華道部による生け花展が行われました。池坊福島支部小野社中の皆様との共催で行われた生け花展は、日頃の練習の成果を発表するもので、地域の方々や保護者、学校関係者が多数来場し盛況のうちに終了しました。生徒たちは小野洋子先生から熱心なご指導をいただいております。華道を通して自然を愛する心や人を思いやる心の大切さを学んでいます。本格的な花の季節はそこまでやって来ています。



掲示板

2月22日、2年生の選択科目で器楽を履修している生徒による発表会が行われました。四人の生徒が授業で取り組んだピアノの曲を演奏してくれました。緊張の様子でしたが、全員最後までやり遂げてくれました。この経験を大事にして欲しいと思います。



式歌練習が行われました

学年末考査終了後、1・2年生による式歌練習が行われました。卒業式当日に歌う校歌と螢の光について、音楽部の演奏により練習を行いました。3年生の門を卒業を祝うため、心を込めて歌って欲しいと思います。

